



学校だより

令和7年7月14日

『**歓**』『**敢**』『**寛**』にあふれる
ともに今を輝く学校づくり

NO. 16



日本の伝統芸能「狂言」を学ぶ〈パート2〉!

7月1日(火)に実施したワークショップに引き続き、7月8日(火)午後、日本伝統芸能の1つである「狂言」を体育館で鑑賞しました。日本最古の演劇であり、ユネスコ無形文化財の日本第1号となった能楽の1つである「狂言」には、180ほどの演目があるそうです。その中の3つ「附子(ぶす)」「柿山伏(かきやまぶし)」「茸(くさびら)」を演じてくれました。公演後には子どもたちから様々な質問が出されました。その質問の1つに対して役者の狂言師の方が一番好きな演目だと語っていた「鶏髻(にわとりむこ)」もいつかは見てみたいものです。本校がめざす『ときめき』のある学びづくりの一環として、今後もこのような機会をつくってまいります。

